

**第11回**  
**情報通信審議会 情報通信技術分科会**  
**ITU部会 電気通信システム委員会議事概要**

1 開催日時及び場所

平成 28 年 9 月 23 日(金) 10:00～11:50

於、総務省 11階会議室

2 出席した委員及び専門委員(敬称略)

平松 幸男(主査)、前田 洋一(主査代理)、相田 仁、江川 尚志、加藤 圭、  
島田 与則、高田 芽衣、高橋 玲、丹 康雄、日高 邦彦、宮地 悟史、森田 純恵、  
山條 朋子

3 出席したオブザーバ(敬称略)

加藤 憲策(NTT アドバンステクノロジー株式会社)、後藤 良則(日本電信電話株式会社)、  
杉浦 淳之介(株式会社富士通総研)、高谷 和宏(日本電信電話株式会社)、  
三宅 優(KDDI 株式会社)、山本 秀樹(沖電気工業株式会社)

4 事務局

中西 悦子(通信規格課 課長)、成瀬 由紀(通信規格課 国際情報分析官)、  
平野 友貴(通信規格課 課長補佐)、岡田 公孝(通信規格課 専門職)、  
稲垣 裕介(通信規格課 係長)

5 議題

- (1)「国際電気通信連合世界電気通信標準化総会への対処について」に対する一部答申について
- (2)その他

配布資料

- 資料11-1 ITU部会電気通信システム委員会構成員一覧
- 資料11-2 「国際電気通信連合世界電気通信標準化総会への対処について」
- 資料11-3 「国際電気通信連合世界電気通信標準化総会への対処について」の概要

## 6 議 事

### (1)「国際電気通信連合世界電気通信標準化総会への対処について」に対する一部答申について

資料 11-2 に基づき、「国際電気通信連合世界電気通信標準化総会への対処について」に対する一部答申について、事務局、加藤オブザーバ、高谷オブザーバ、宮地専門委員、江川専門委員、高橋専門委員、後藤オブザーバ、電気通信技術システム課、山本オブザーバ及び三宅オブザーバから説明。

主な質疑は以下の通り。

○:SG13について、FG IMT-2020 ではオープンソースとの連携が検討されたとあるが、ITU はオープンソースとの関係性について何か考えているのか。

○: オープンソースは重要なトレンドとなっており、ITU としてはどのように取り組むべきかを検討しているところである。

○:SG15は、光ネットワークを背景に、課題も現状どおり維持ということが支持されていると思われるが、民間のフォーラムにてパラレルに決めようとするような動きはあるのか。

○:PONIに関する標準では、IEEEとの連携が図られている。

○:SG20に関して、課題の移管元の SG に出席していた専門家やグローバルな市場に関心がある専門家は参加しているのか。

○:SG13でIoTの活動をしていた専門家がSG20で活動しているなど、移管はうまくいっている。また、この分野において非常に活発に活動している oneM2M と連携した活動が行われている。

○:スマート・マニュファクチャリング関係について、フォーラムである oneM2M は通信事業者がメインの団体である。他方、製造業や小売店などの関係団体との連携はあるのか。

○:oneM2M 自身が積極的に関連業界との連携を図っているが、今後はIoTの重要なプレイヤーである製造業、小売、車、電力等との連携強化は必要と考えている。

○:SG20に関してはアプリケーション関連の課題を扱っており、今後、ITU-Tで勧告化する段階にない内容の勧告化を進めてしまう可能性もあることから、動きを注視していく必要がある。

### (2)その他

次回会合は、年明け以降に開催する旨、事務局より説明。

以上